

ソルビタン脂肪酸エステル乳剤（商品名：ムシラップ）の野菜類の ハダニ類、アブラムシ類に対する防除効果

農業・園芸総合研究所

1 取り上げた理由

アブラムシ類やハダニ類は園芸作物において、薬剤抵抗性の発達により防除が難しい害虫である。そのような中、ソルビタン脂肪酸エステル乳剤は収穫前日まで使用でき、散布回数制限のない気門封鎖型薬剤で、薬剤ローテーションに組み入れやすい薬剤であるため普及情報とする。

2 普及情報

1) ソルビタン脂肪酸エステル乳剤はハダニ類やアブラムシ類に対して、対照薬剤のデンプン液剤や還元澱粉糖化物液剤と同程度の防除効果を示す（図1～2）。

a 薬剤名 ソルビタン脂肪酸エステル乳剤（商品名：ムシラップ）

b 有効成分，物理化学的性状

a) 有効成分：ソルビタン脂肪酸エステル 70.0%

b) 性状：淡褐色澄明油状液体

c) 毒性：普通物，魚毒性：－

c 主な適用作物と対象害虫

野菜類，花き類・観葉植物：アブラムシ類，ハダニ類，うどんこ病

d 使用方法

a) 使用時期：収穫前日まで（野菜類），発生初期（花き類・観葉植物）

b) 使用回数：－

c) 使用濃度：500倍液

d) 使用方法：散布

2) 本剤は気門封鎖型薬剤であるため，対象病害虫に散布液が直接かかると効果がない。

3 利活用の留意点

1) 薬害の恐れがあるので他の薬剤との混用は避ける。

2) 対象病害虫にむらなくかかるよう発生部位に丁寧に十分量を散布する。また，病害虫の発生が多い場合は効果が十分に発揮されないこともあるので，5～7日間隔で連続散布することが望ましい。

3) 作物の幼苗期，高温時など一般に薬害が生じやすい条件での使用を避ける。

4) 本剤は低温（10℃以下）で放置した場合，一部白濁沈殿を生じる場合があるので，使用の際にはあらかじめ透明液体にもどしてから（10℃以上におくか，温湯を用いて溶かす）使用する。

5) 本剤の価格は500mlで 円程度である。

（問い合わせ先：農業・園芸総合研究所園芸環境部 電話022-383-8123）

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

新農薬による園芸病害虫の防除 平成18年度, 平成21年度

2) 参考データ

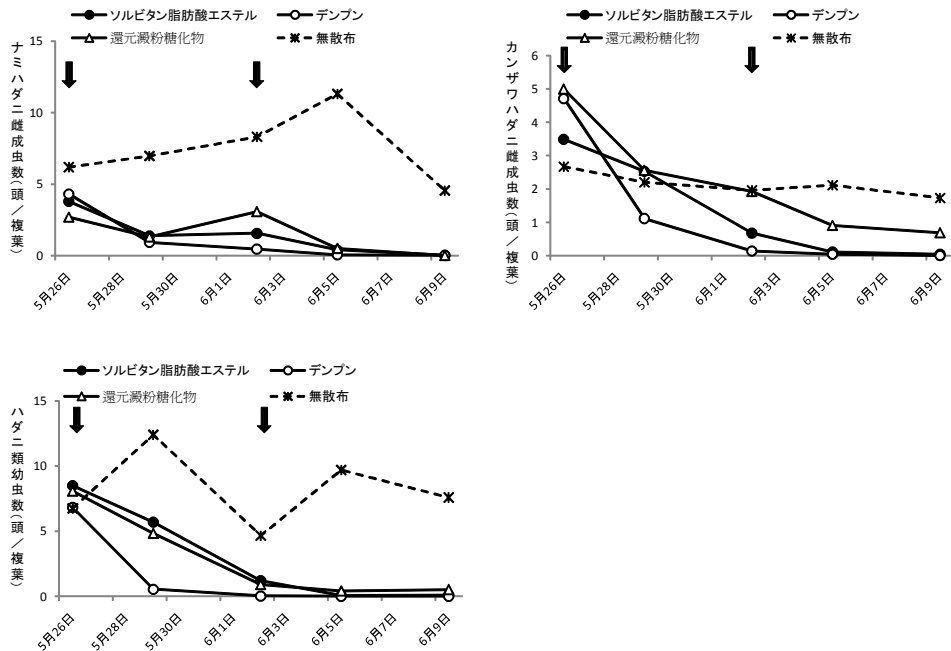


図1 イチゴのハダニ類に対するソルビタン脂肪酸エステルの防除効果 (上左図：ナミハダニ雌成虫, 上右図：カンザワハダニ雌成虫, 下図：ハダニ類幼虫 農園研内, 平成18年, 品種：とちおとめ, 矢印は散布月日を示す) ソルビタン脂肪酸エステル：ムシラップ® 500倍液, テンブロン：粘着くん液剤100倍液, 還元澱粉糖化物：エコヒータ液剤100倍液 散布月日：平成18年5月26日, 6月2日 各3反復

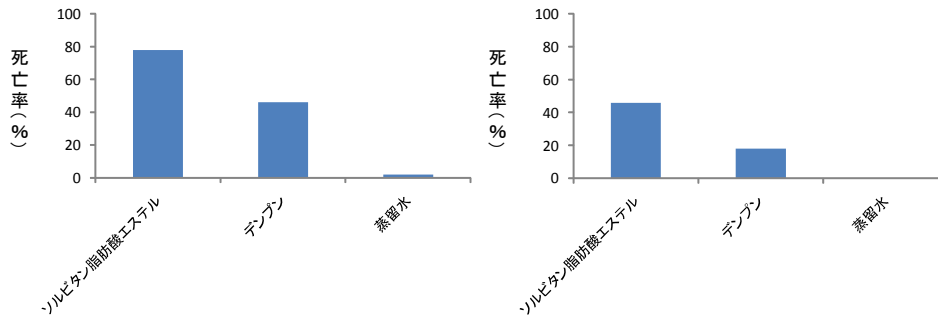


図2 ニジンアブラムシ (左図) 及びモモアカアブラムシ (右図) に対するソルビタン脂肪酸エステルの殺虫効果 (平成21年) ソルビタン脂肪酸エステル：ムシラップ® 500倍液, テンブロン：粘着くん液剤100倍液 ニジンアブラムシはセリ葉片を, モモアカアブラムシはキャベツ葉片を供試, 各10頭/葉片, 5反復処理48時間後に調査

3) 発表論文等 なし

4) 共同研究機関 なし